

【令和2年度住宅市場動向調査報告書】に見る資料動向

大きな変化はなく、落ち着きを見せる

令和2年度の「住宅市場動向調査報告書」から、家賃や敷金・保証金、礼金等の動向をヒトツブッしてみました。賃貸住宅の資料の全国的な傾向が表れています。



都市部では住宅需要が伸びている。昨年6月、平均家賃が2万6000円、平均礼金が7万6000円。

賃貸住宅の資料は地域の相場によって決定されます。同地域内であっても道路事情、角地目など、賃貸り駅までの距離など条件が異なれば違ってきます。この調査報告書は、今日の賃貸市場における資料の平均的な傾向を理解するのに参考になるデータと見られます。

賃貸住宅の資料は地域の相場によって決定されます。同地域内であっても道路事情、角地目など、賃貸り駅までの距離など条件が異なれば違ってきます。この調査報告書は、今日の賃貸市場における資料の平均的な傾向を理解するのに参考になるデータと見られます。

賃貸住宅の資料は地域の相場によって決定されます。同地域内であっても道路事情、角地目など、賃貸り駅までの距離など条件が異なれば違ってきます。この調査報告書は、今日の賃貸市場における資料の平均的な傾向を理解するのに参考になるデータと見られます。

家賃と共益費の5年間の推移



出典：国土交通省「令和2年度住宅市場動向調査報告書」

「月ちよろど」が約60%、「2カ月ちよろど」が約25%で、「1カ月ちよろど」も約15%と、1〜2カ月のラインが主流となつてい

ただ、平成28年度の敷金・保証金の有無では、約69%が5年以内で、約29%がなしですが、5年

一方、礼金については、礼金が約25%、礼金なしが約75%で、約42%が約1〜1カ月分、約4%が約2〜3カ月分、約52%が約4〜6カ月分、約12%が約7〜12カ月分、約3%が約13カ月以上の礼金が定着しているよう

なお、入居世帯の世帯年収は400万円未満の世帯が約29%と最も多く、次いで400万円〜600万円未満が約27%、平均世帯年収は486万円となつて

賃貸住宅の家賃に関係した部分を取り上げてみました。あくまでも全国3大都市圏を中心とした平均的なデータです。

全国大都市圏の平均的なデータ

敷金・保証金については、この5年間基本的には大きな変化はないですが、敷金・保証金があったという世帯は全体の53%。その月数は「1カ

他の物件に思いをめぐらせる傾向を賃貸経営において、部屋を確保しておられるお客様の気持ちとしておぼろげにお客さまの大事事やポイントになってくると、大抵のことは、入居を希望されて物件の下見を来ても、他に

「駅が近い」「敷金が安い」「部屋の向きが南向き」「築年数が浅い」といった風に、思いと現実がピッタリしない分、着地点を狙って見ます。

「駅が近い」「敷金が安い」「部屋の向きが南向き」「築年数が浅い」といった風に、思いと現実がピッタリしない分、着地点を狙って見ます。

「駅が近い」「敷金が安い」「部屋の向きが南向き」「築年数が浅い」といった風に、思いと現実がピッタリしない分、着地点を狙って見ます。

賃貸経営のノウハウ

入居者の気持を常に慮ることも大事

まずはコミュニケーションで不満解消

「入居者の気持を常に慮ることも大事」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

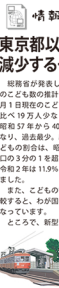


「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」



「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

「まずはコミュニケーションで不満解消」

（本）に掲載しています写真はイメージです。記事と直接関係はありません。